

開講科目名 / Course	看護管理学概論	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 2 学期 / Second	
開講区分 / semester offered	2 学期 / Second	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	福田 広美	
担当教員名 / Instructor	福田 広美、荒木 章裕、矢野 亜紀子、大矢 七瀬	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	看護管理学概論 では、講義を通して看護を取り巻く社会背景と共に看護管理に必要な基礎的知識について論じる。加えて、看護職のキャリアや他職種との協働・連携、ヘルスケアの現場において安全で質の高い医療と看護を提供するための基本的な仕組みについて具体例を挙げながら説明する。 また、看護を取り巻く現状から課題を発見し、日々の看護管理を行うための方法について討論する。	
到達目標	1. 看護管理に用いられる基本的な用語について、自分自身の経験と関連付けて説明することができる。 2. 日常の看護の事例を通して看護管理に関する課題を発見することができる。 3. 発見した課題を解決するための具体的な対応策についての討議を通して、改善策を立案・検討することができる。	
DPとの対応	3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、6.探究心と創造力	
授業計画	01. 看護を取り巻く社会 02. 看護管理に求められる能力 03. 看護職と組織・キャリア 04. 看護とリーダーシップ 05. 他職種との協働・連携 06. 看護管理の実際 07. 安全管理1：組織とリスクマネジメント 08. 安全管理2：業務上の危険因子とその対応	
その他の授業の工夫	発問やグループディスカッションを用い、思考する時間を意図的につくることや学生間の意見交換等のアクティブラーニングを実施する。	
時間外学修	・毎授業前に、アップロードした資料をダウンロードし、予習する（5h）。 ・日本の医療・保健・福祉の現状に関するニュースや新聞を視聴し、要点や自分の考えをまとめる（17h）。	
評価方法と評価割合	各回のミニレポート（40%）、最終レポート（50%）、平常点（発問に対する積極性）（10%）レポートにおいて到達目標が達成できているかを評価する。 出席時間数の3分の2以上の出席を評価要件とする。	
テキスト	授業ごとにハンドアウトを配布する。	
参考書	系統看護学講座 専門分野 看護管理（医学書院） 看護の統合と実践 看護管理（メディカ出版）	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	福田広美：病院に勤務する看護師 荒木章裕：病院に勤務する看護師 矢野亜紀子：病院に勤務する看護師 大矢七瀬：病院に勤務する助産師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	看護職としての実務経験を活かして看護管理の在り方と実際について授業を行う。	